

9. フォローアップチームの派遣

当年度は、労働統計・政策セミナーについて帰国研修員のフォローアップチームを派遣し、我国で実施した研修成果の測定、当該研修分野のニーズ調査を行うと共に「日本の統計行政と労働統計」及び「我が国の行政機関に於ける統計表作成のシステム化について」の講演を行った。

派遣チームの概要は次の通りである。

労働統計・政策セミナーのフォローアップ

II 派遣チームの概要

1. 目的

前述のように、労働統計・政策セミナーは12年度にわたり継続実施され、帰国研修員は115名にのぼる。今回の帰国研修員フォローアップチームは、ブラジル及びパラグアイの帰国研修員の所属機関及び関係機関を訪問し、また、帰国研修員と面談することによって、帰国研修員の動向、セミナー研修計画に対する要望、提言、当該分野での問題点等を把握し、今後の研修員の受け入れ事業及びフォローアップ事業の向上改善に資することを目的とするものである。

以上のもとに、次の具体的目的を掲げてフォローアップ調査を行うこととした。

(1) 帰国研修員の活動状況の把握

帰国研修員が現在どのようなポストにあり、労働統計調査にどのように関わりがあるかどうか、セミナーの効果、セミナーに期待したものの充足度並びにセミナーで得た知識が直接役立ったかどうか、更に今後のセミナー計画について、セミナー参加経験者の立場から要望や提案についての聴取をする。

(2) 訪問国における労働統計実施体制の実態の把握

- 1) 労働統計がどのような組織のもとで実施されているかを把握するとともに、抱えている問題点について聴取する。
- 2) 実施している労働統計の種類・実施内容及び労働政策策定への活用並びに情報処理システムの実態を把握する。

(3) 研修員の派遣手続き及び選考に関する事情の聴取

最も適切な参加候補を期限内に推薦することについて関係機関での実情を聴取する。

(4) 「日本の統計行政と労働統計」及び「我が国の行政機関に於ける統計表作成のシステム化について」の紹介

日本の統計行政の現況、労働統計の種類・課題及び我が国の行政機関に於ける統計表作成のシステム化の現況について、講演により紹介する。

2. フォローアップチームの構成

氏名	担当業務	所属先
くろさわ ひろし 黒澤 弘	団長・総括	労働省大臣官房政策調査部 産業労働調査課課長補佐
おほもと ひろし 大本 棟 弘	技術指導	労働省大臣官房政策調査部 管理課課長補佐
さいとう とおる 齋藤 徹	業務調整	国際協力事業団八王子国際研修センター 研修課

3. 訪問国及び期間

(1) 訪問国

ブラジル (帰国研修員 10名)

パラグアイ (帰国研修員 8名)

上記2ヶ国を訪問国としたのは、帰国研修員が南米諸国の中で多いことなどを考慮したことによる。

(2) 期間

平成2年10月20日から平成2年11月5日までの17日間

4. 日程

注：時刻は現地時間

10月20日(土)

19:00 成田発 JL-068 ロスアンゼルス経由

10月21日(日)

- 6:45 サンパウロ着
- 10:10 サンパウロ発 TR-304
- 11:40 ブラジリア着
- 12:40 Naoun Plaza Hotel着
- 17:00 セミナー通訳との打ち合わせ

10月22日(月)

- 9:50 JICAブラジル事務所打ち合わせ(斉藤所長、本郷所員、室沢所員)
- 11:30 大使館表敬(伊藤参事官、滝野一等書記官)
- 12:00 JICA事務所主催昼食会
- 14:30 セミナー開催(経済省経済研究所 - IPEA 情報技術普及部)
通訳 上甲民江アリセ
(セミナー出席者、別添リストの通り)
- 17:00 帰国研修員面談(Ms. Meiriane Nunes Amaro)
- 18:00 JICA事務所報告

10月23日(火)

- 6:45 Naoun Plaza Hotelチェックアウト
- 8:20 ブラジリア発 VP-270
- 9:50 サンパウロ着
- 10:50 Fuji Palace Hotel着
- 14:00 JICA事務所打ち合わせ(堀口所長、土生室長、佐々木所員)
- 16:00 移民資料館見学

10月24日(水)

- 10:00 IDORT - Instituto de Organizacao Racional do Trabalho
de Sao Paulo 訪問及び帰国研修員と面談
(出席者、別添主要面会者リストの通り)
- 14:00 サンパウロ大学 経済経営学部にて意見交換会
(意見交換会出席者、別添主要面会者リストの通り)

10月25日(木)

- 9:00 JICAサンパウロ事務所にて、帰国研修員と面談
(Mr. Arnold Hermann Ferle, Mr. Hiroo Takaoka,
Mr. Hudson Prestes dos Santos, Mr. Emilio Kenji Shibata)
- 11:50 サンパウロ事務所主催昼食会
- 13:50 セミナー会場着 (DESIN - FIESP)
- 14:00 セミナー開催 司会 同窓会長 アルベルト富田
通訳 Mr. Milton Liuji Nonaka
(セミナー参加者、別添リストの通り)
- 18:00 セミナー終了
- 19:30 団長主催夕食会 (Nikkey Palace Hotel)

10月26日(金)

- 8:30 Fuji Palace Hotelチェックアウト
- 10:00 サンパウロ発 SC-615
- 10:55 リオデジャネイロ着
- 11:25 Leme Palace Hotel着
- 14:30 総領事館表敬 (田辺総領事、田川領事)
- 15:30 JICA事務所打ち合わせ (津浦所長、平間所員)
- 16:30 帰国研修員と面談 (Mr. Carlos Roberto Arieira)
- 19:30 リオデジャネイロ事務所主催夕食会

10月27日(土)

ペテロポリス、リオデジャネイロ視察 (田川領事案内)

10月28日(日)

- 7:15 Leme Palace Hotelチェックアウト
- 10:30 リオデジャネイロ発 RG-903 サンパウロ経由
- 13:30 イグアス着
RG-903便後部エンジン故障修理のためイグアスにて待機
- 19:30 イグアス発
- 19:15 アスンシオン着
- 20:15 JICA事務所主催夕食会
- 22:30 Hotel Guarani着

10月29日(月)

- 8:45 JICAパラグアイ事務所打ち合わせ(内田業務第二課長、岸所員)
- 11:00 大使館表敬(船越公使、中原二等書記官)
- 14:15 C. E. V. (CENTRO DE ENTRENAMIENTO VOCACIONAL)
職業訓練センター視察
- 16:00 人造りセンター(セミナー会場)視察

10月30日(火)

- 8:30 司法労働省訪問 鈴木専門家同行
司法労働大臣表敬(Dr. Hugo Estigarribia Elizeche)
- 8:50 労働局長と会見(Dr. Oscar Martinez Perez)
- 9:15 労働統計部視察、労働統計部長(Ms. Bertha de Lopez)
- 9:25 雇用促進部にて帰国研修員と面談
雇用促進部長(Dra. Gladys Santacruz de Villalba) 同席
(Mr. Mario Ramon Cino Acosta,
Ms. Maxima Stela Gonzalez de Torales,
Ms. Maria Gloria Magdalena Lesme Benitez de Esmeil,
Ms. Ediltrudis Cristaldo Ibarra)
- 10:30 電気通信学園(IPT)視察
- 12:15 労働省関係専門家主催昼食会
- 15:00 司法労働省職業訓練所(SNPP San Lorenzo)見学
谷口、高橋、今栄、古賀、稲森専門家により案内
- 20:30 帰国研修員同窓会主催夕食会

10月31日(水)

- 8:50 ANTELCO(Administracion Nacional de Telecomunicaciones)
訪問
- 10:30 衛星通信局見学
アスンシオン近郊視察
(Caacupe, San Bernardino, Itaugua)
- 19:00 大使館主催夕食会

11月1日(木)

- 8:50 司法労働省職業訓練所本部(SNPP)訪問
帰国研修員と面談(Ms. Maria Edelmira Collar Ortiz)
- 10:30 教育文化省訪問
帰国研修員と面談(Mr. Felipe Ramon Huerta Delgado)
- 11:30 JICA事務所にてセミナー通訳との打ち合わせ
- 15:30 セミナー会場着(人造りセンター)
- 16:00 セミナー開催 司会 同窓会長 Mr. Juan Carlos Barrios
Ibarrola
通訳 Prof. Ing. Agr. Tomio Hanano
(セミナー参加者、別添リストの通り)
- 19:30 セミナー終了
- 20:00 団長主催夕食会(Hotel Uchiyamada)

11月2日(金)

- 9:30 JICA事務所報告(河合総務課長)
- 12:00 Hotel Guaraniチェックアウト
途中昼食
- 15:00 アスンシオン発 RG-903 イグアス、サンパウロ経由
- 20:20 リオデジャネイロ着
- 23:55 リオデジャネイロ発 RG-860

11月3日(土)

- 6:00 ニューヨーク着
- 7:15 Omni Park Central Hotel着

11月4日(日)

- 9:30 Omni Park Central Hotelチェックアウト
- 12:30 ニューヨーク発 JL-005

11月5日(月)

- 17:10 成田着

5. フォローアップ調査方法

今後の労働統計・政策セミナーの運営にあたっては、参加国の統計機構、労働統計の実施状況、労働政策策定への活用及び情報処理の実情を十分に把握する必要がある。このことから、フォローアップ調査にあたっては、帰国研修員をはじめ、研修員の所属する機関の幹部職員と面談し、本セミナーに対する評価と労働統計に関する機構、実施状況等の実情についての聴取に努めた。

なお、帰国研修員に対する質問表を事前に送付し、帰国研修員その他の関係者と面談した。

また、「日本の統計行政と労働統計」及び「我が国の行政機関に於ける統計表作成のシステム化について」の講演にあたっては、下記の英文レジュメ等を出席者に配布した。

- 1) Statistical Administration and Labour Statistics in Japan
Appendix - Organization of The Ministry of Labour
- Government Statistical Organization
- 2) On Systematization of Tabulating Work in Japanese Government

10. 健康管理

- 1) 当年度は、10ヶ月間滞在する職業訓練スタッフコースの研修員48名と、建設機械整備コース(3ヶ月)8名、バス・トラック整備技術コース(3ヶ月)11名を対象に来日後に健康診断を実施したが、ほとんど問題が無かった。
- 2) 当年度に病院に同行した総件数は175件であり、件数の多い病気は風邪(19)筋肉痛(15)歯科口腔外科(12)湿疹(10)であった。日本の冬の寒さに筋肉痛を訴える研修員が数多くいた事が特筆すべき事である。また視力低下、及び自国から持ってきた眼鏡が合わず、こちらで新しく購入した研修員も4人程いた。
- 3) その他病気となった研修員は次の通りであり、職業訓練管理セミナーの研修員が残念ながら研修未了で帰国することになった。

職訓電気工学	イラク研修員	カリブンクル・瘰 (切開手術の後、消毒の為2ヶ月程通院)
職訓電子工学	パラグエイ研修員	翼状片(簡単な手術)
職訓建築工学	インドネシア研修員	中心性脈絡網膜症
ハンガリー生産管理	ハンガリー研修員	左尿管結石
農業協同組合コース	マレーシア研修員	妊娠
職業訓練管理セミナー	フィリピン研修員	妊娠

平成2年度病院同行記録件数

病名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	合計															
(内科)																													
呼吸		1	1	7	2	1	2	1	1		2	1	18	19															
胃腸炎						4	2	1	1				6	8															
喘息																													
高血圧症				1	3	1	1						1	6															
肝臓障害										1			1	1															
肝炎																													
心臓疾患																													
白血球増多																													
糖尿病				4	2								4	6															
食当り								1					1	1															
栄養不良																													
その他						1				2	1	1	4	6															
(皮膚科)																													
皮膚炎																													
湿疹				1	1	1	1	1	1	1	1		8	10															
梅毒								3	3				3	6															
その他					1		2	2	1	1		1	6	8															
(外科・整形外科)																													
外傷				1	3								1	4															
筋肉痛					1	1	1	1	2	2	6		5	15															
神経痛																													
打ち身・捻挫							2	3	2				4	7															
その他								1	3			2	3	8															
(眼科)																													
結核炎										1	1		1	2															
ものもらい																													
視力低下				1	1	1					1	1	4	5															
眼精疲労								1	3				4	4															
異状片								1	3	1	1		2	6															
その他								3	1	2	1	1	3	8															
(耳鼻・咽喉科)																													
外・内耳炎			1	3	1								2	5															
雑音																													
咽喉炎										1			1	1															
その他					1	1							2	3															
(口腔外科・歯科)																													
虫歯						1	1	1	5	4			3	12															
歯齦腫れ											1	1	2	2															
親知らず				1	1								2	2															
その他			1			1	1	2	1				5	6															
(産婦人科)																													
妊娠			1			1							1	2															
その他					1	1							1	2															
(その他)																													
初診件数	二回目以降	0	0	1	0	4	3	17	5	10	6	11	2	15	10	20	23	7	7	8	7	6	6	4	3	103	72	175	
一ヶ月合計件数		0	1	7	22	16	13	25	43	14	15	12	7	175	175														
在籍者数																													
備考										眼科 手術1																			

11. 宿泊施設の利用

当年度における月別の宿泊利用実績は次表の通りであり、年間入館率は74%であった。

(人日)

月別	集 団	個 別	一 般	計	宿 泊 可 能 数	入 館 率
4	584	51	16	651	2,910	22.4%
5	874	108	20	1,002	3,007	27.9%
6	1,792	114	1	1,907	2,910	65.3%
7	2,740	31	17	2,788	3,007	92.7%
8	2,293	34	36	2,363	3,007	78.5%
9	2,596	28	26	2,650	2,910	91.1%
10	2,835	0	26	2,861	3,007	95.1%
11	2,850	0	29	2,879	2,910	98.9%
12	2,402	13	47	2,462	3,007	81.8%
1	2,054	52	48	2,154	3,007	71.2%
2	2,111	368	17	2,496	2,716	91.9%
3	1,620	333	37	1,990	3,007	66.2%
計	24,751	1,132	320	26,203	35,405	74.0%

注 ベッドルーム数 97室

年間宿泊可能数 $97 \times 365 \text{日} = 35,405 \text{人日}$

12. センター事業費の支出実績

1) 当年度に当センターの事業運営に要した経費は次表の通り、総額761,076千円であった。

(但し、当経費にはJICA職員の人件費及び研修員の日本往復の航空賃、滞在費、支度料等本部支出の経費は含まれていない。)

(千円)

千円 \ 年度	63年度	平成元年度	平成2年度
研修員受入費	589,778	549,931	608,461
施設運営費	117,158	123,451	125,476
管理費	35,714	20,654	27,139
計	742,650	694,036	761,076

2) 研修員受入費

研修事業に係わる直接経費で上記の本部支出の経費は含まれない。

(千円)

科目	内 訳	金額
I. 研修員受入に必要な経費		
(目) 受入諸費		(161,409)
滞 在 費	研修員の宿泊費用 一般4,035 / 1泊	130,936
国内旅費	研修員の国内旅行運賃及び旅行手当	30,473
(目) 研修諸費		(443,309)
1. 研修実施経費	研修実施のための直接経費	220,711
2. 共通経費	研修管理のためのバス運行費、ゼロックス経費、その他資材購入費	38,172
3. 研修機関拡充費	委託先の語学研修経費	445
4. センター施設使用料	宿泊料収入でカバー出来ない教室等施設の使用料	33,293
5. 厚生経費	医療及びリクレーション等厚生事業経費	15,919
6. オリエンテーション費	日本事情紹介のための経費	11,693
7. 日本語教育費	集中及び一般日本語研修経費	12,557
8. 研修監理経費	研修コーディネーターの謝金と同行国内旅費	110,519
II. フォローアップ経費		3,743
調査旅費	労働統計、政策セミナーのフォローアップチーム旅費	3,375
現地調査費他	" 現地調査費他	368
計		608,461

3) 施設運営費

当センター施設の保守管理に係わる経費であり、主なものは雑役務費86,594千円、光熱水料30,460千円、備品費1,333千円、消耗品費1,796千円である。

4) 管理費

当センターの運営に係わる管理経費であり、主なものは、備品費9,100千円、諸税公課2,925千円、修繕費1,632千円、通信運搬費1,802千円、自動車維持費1,591千円である。

13. 研修事業関係機関及び関係者

当センターの研修事業は各省庁の担当者はじめ委託先関係者、地元諸団体の関係者等多数の人々の協力を得て実施されるが、直接研修事業に従事された主な関係者のリストは別紙の通りである。

研修事業関係機関および主な関係者リスト

1. 主務官公庁

- 労使関係行政セミナー : 労働省労政局労政課
課長補佐 桑原 昭典
国際労使関係係長 横山 圭以子
- テレビジョン放送管理コース : 郵政省政策局国際協力課
係長 畠添 隆幸
浅野 加奈子
- 職業訓練指導員コース
監督者訓練専門家セミナー
職業訓練管理セミナー
職業能力開発行政セミナー
ハイテク・リサーチコース
- 労働省職業能力開発局海外協力課
課長 南元 慎亮
課長補佐 榎本 克哉、寺岡 忠嗣
協力官 古曳 享司、海前 嘉明
小林 弘樹
- 農業協同組合コース : 農林水産省経済局国際協力課係長
小宮山 博
- 労働統計政策セミナー : 労働省大臣官房政策調査部産業労働調査課
統計審査室長 小畑 宣子
課長補佐 黒澤 弘
統計専門官 山口 真寿美
審査係長 近藤 久恵
- 政府会計検査セミナー : 会計検査院事務総長官房調査課
課長 酒匂 宣昭
国際協力官 勝野 憲昭
国際協力官 布施 吉之
国際第2係長 渡辺 雅幸

- 衛生行政セミナー : 厚生省大臣官房国際課
課長 大西 孝夫 課長補佐 瀬上 清貴
係長 小林 和夫
- 森林管理計画コース : 林野庁計画課 海外林業協力室
調査調整係長 鶴園 重幸
- 一般租税コース : 国税庁国際業務室
室長 免出 嘉秀 室長補佐 下村 英紀
事務官 望月 文夫
- 建設機械整備コース : 建設省建設経済局建設機械課
課長 後藤 勇 専門官 北河原 徹
計画係長 野村 正之
- 環境技術(大気保全)コース : 環境庁大気保全局企画課
課長 浅野 楢悦 主査 志々目友博
地球環境部 環境協力室
室長補佐 木村 敦彦 協力専門官 松田 勉

2. 研修委託先

- 犯罪防止(矯正保護)コース } 国連アジア極東犯罪防止研修所(UNAFEI)
犯罪防止(刑事司法)コース } 所長 杉原 弘泰、研修部長 西村 則夫
犯罪防止(上級)セミナー } 法務事務官 前田 孝博、飯塚 千秋
井上 正喜
- 実践的総合生産性向上コース } 日本生産性本部(財)
ハンガリー向経営管理コース } 専任部長 清水 雅美 担当 大塚 美都
" 生産管理コース }
- 農業協同組合コース } (財)アジア農業協同組合振興機関(IDACA)
タイ農協振興プロジェクト } 事務局長 及川 徹郎
C/Pコース(個別) } 研修部 照沼 弘 安部 幸男

- 開発エコノミスト(工業)コース : (財)国際開発センター(IDCJ)
 理事 大川 一司
 コースディレクター 山下 貢
 研修部長理事 関川 弘司
 担当 安室 奈美
- 補装具製作技術コース : 国立身体障害者リハビリテーションセンター
 研究所所長 初山 泰弘
 企画調整官 高橋 利夫
 義肢装具士長 田村 徹
- 衛生行政セミナー : (財)日本国際医療団
 専務理事 茂木 良三
 管理部長 田中 潤佑
 業務第二課長 宗川 健司
 担当 柏木 俊昭
- 森林管理計画コース : 林野庁林業講習所
 首席教務指導官 宮崎 宣光
 研修企画官 石井 晴雄
- 建設機械整備コース : (社)日本建設機械化協会
 調査部長 内田 保之
- バス・トラック整備技術コース : 日野自動車工業株式会社
 海外サービス部研修課長 河合 修一
 最上 武志、藤田 芳彦、塩澤 俊哉
- 大気保全コース : 日本環境衛生センター
 部長 氷見 康二
 研修事業部課長 谷 英資
 主任 塚田 清、担当 村井 結花
- 職業訓練指導員コース } 職業訓練大学校
 ハイテク・リサーチコース } 国際協力部長 坂田 哲雄

- シンガポール長期指導員養成(個別) } 管理係長 中村 和彦 係 小山 茂
 国際協力主任 佐藤 晃平
 柴沼 克哉、日向 輝彦
 佐藤 一郎、川崎 博
 早船 義雄、松留 慎一郎
- 労使関係行政セミナー : 日本労働研究機構
 国際交流部長 藤井 龍子
 計画課長 高橋 隆夫
 担当 内田 寛子
- テレビ放送管理コース : 日本放送協会
 総合企画国際協力副部長 高瀬 賢一
 中川 正巳
 日本民間放送連盟 国際室長 青木 寿男
- 一般租税コース : 国税庁税務大学校 教務課
 課長 佐藤 直人、課長補佐 肥後 治樹
 事務官 小川 広明
 コースリーダー 渡辺 啓二、上野 嘉一

3. 研修指導者 (JICA委嘱)

- 監督者訓練専門家セミナー : 浅野 孝
 職業訓練指導員コース : 村本徹五郎
 職業訓練管理セミナー : 大河原 理
 職業能力開発行政セミナー : 石川 俊雄

4. 研修監理員

- | | |
|---------------------|------------------|
| (センター分室主任) 永見 二郎 | (実践的生産性向上) 阿部 貞博 |
| (犯罪防止3コース) 広岡 恵 | (労使関係行政) 中西 純子 |
| (テレビ放送管理) 小澤 加代 | (農業場同組合) 中嶋 透 |
| (職業訓練指導員電気) 山口 唯観 | (監督者訓練専門家) 吉岡 求里 |
| (職業訓練指導員生産機械) 村井 健佑 | (開発エコノミスト) 垂井佐恵子 |

(職業訓練指導員造形) 田中 正司	(労働統計政策) 浜田 法子
(職業訓練指導員電子) 村上 健	(政府会計検査) 中西 純子
(職業訓練指導員産業機械) 柿野周二郎	(補装具製作技術) 今泉 真理
(職業訓練指導員建築) 村上 輝夫	(ハイテク・リサーチ) 乙黒 令子
(職業訓練管理) 小澤 加代	(衛生行政) 夏目 満子
(森林管理計画) 阿部 貞博	(大気保全) 中西 純子
(一般租税) 中西 純子	(建設機械整備) 森田 俊之
(一般租税) 浜田 法子	(建設機械整備) 石川 正志
(バス・トラック整備) 森田 俊之	(職業能力開発行政) 浜田 法子
(バス・トラック整備) 石川 正志	

5. オリエンテーション

委託先 (社)国際交流サービス協会 専務理事 横山 総三、理事 吉田 弘
 事業部交流促進課係長 及川 伊佐子、高橋 孝毅、佐藤 栄子
 中谷 慶子、二階堂かおり、木村 義子

●特別オリエンテーション

生花：高木 妙子(草月流師範)助手 榊原 育子、西原 千晴
 “ 伊藤 雅子

茶道：忠岡 明恵(裏千家桜会師範)助手 菊地 千賀子

日本の音楽：尺八 ジョン・海山ネプチューン(都山流師範)
 琴 渡辺 歌泰(生田流 大師範)

●一般オリエンテーション

ことばと生活：花村 和子(IHCSA) 浜中 初枝(仏語、明大講師)

滞日生活：横山 総三(IHCSA) 三保 元(仏語、ICU教授)

日本の行政機構：山口 房雄(元東海大教授)

日本経済：鈴木 宏昌(仏語、早大助教授) 山田 久(和光大助教授)

日本の経済及経営：勝俣 誠(仏語、明大助教授)

日本の教育：原 芳男(東京工大教授)

日本の歴史・文化：坂本 美樹雄(明星大講師)

日本の地理：西岡 久雄（青山学院大学長）

八王子事情：太田 達（八王子ESS名誉会長）

滑川 明彦（仏語、日大教授）

●都内見学

主な見学場所：明治神宮、JICA T.I.C、霞ヶ関官庁街、皇居前広場

東京タワー

イラストレーター：奥沢 信子(IHCSA)、加藤由紀子（仏語、IHCSA）

6. 日本語研修

委託先：(財)国際協力サービス・センター 日本語研修室

室長 村上 素彦、担当 比護 裕子

講師：生駒 幸子 古畑 隆子 石田 迷子

岡村 葉子 河原崎めぐみ 久池井紀子

相良 淳子 四釜 栄子 鈴木 和枝

中川千恵子 福谷 正子 藤林 一正

宮本 康二 野元千寿子 勝又 恵子

7. 訪問先小、中学校（八王子市立）

中学校 ひよどり山 城山 由井 横山

小学校 三本松 元八王子東 由井第三 美山 稲荷山 高嶺

大和田 横川 第四小 南大沢 城山 清水 第二

松ヶ谷 散田

8. 文化交流、レクリエーション活動

日野青年会議所、ヒッポファミリークラブ、日野ロータリークラブ

八王子市公民館、所沢インターナショナルファミリー、南陽台自治会

八王子青年会議所、相模原市友好親善課、狭山青年の家、相模原市内出中学校

京王自動車、相模原市二本松小学校、八王子国際友好クラブ、国際ソロプチミスト

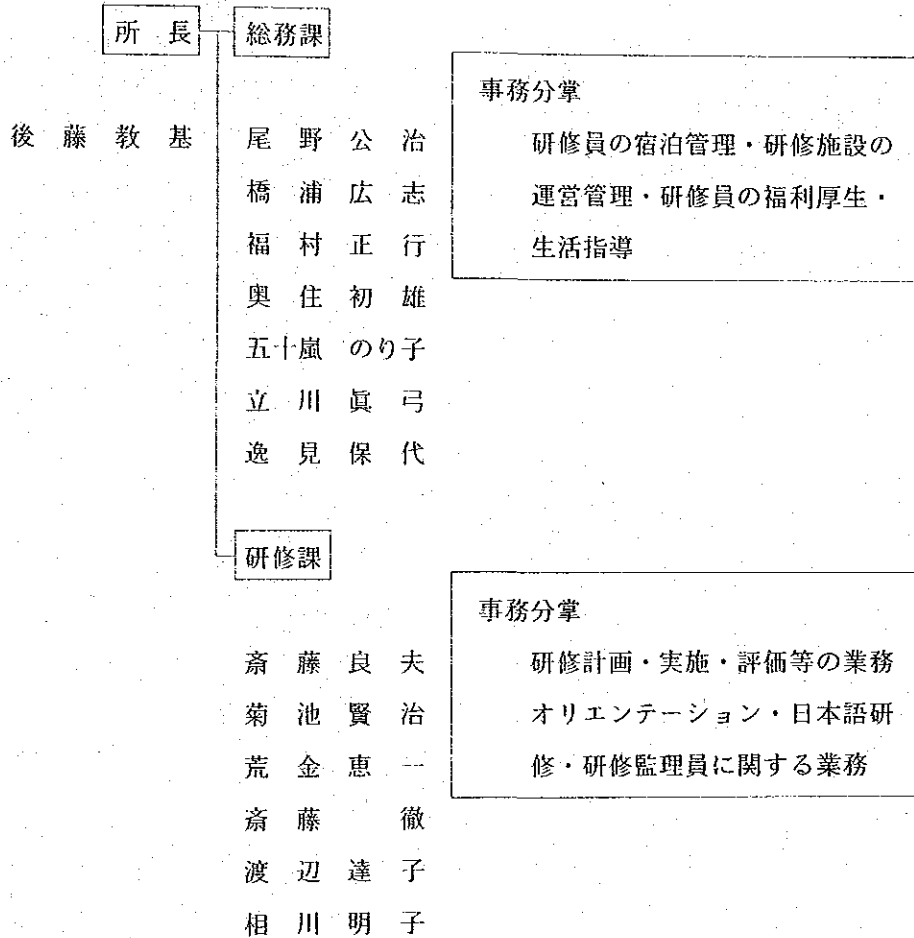
八王子ESS、日本ビニールコードK.K.

9. 健康管理

仁和会総合病院、丘の上病院、吉田内科、斉藤歯科、山王病院、横関医院

【参 考】

1. HITCの業務体制（平成3年3月31日現在）



2. HITCの施設

1) 建物規模

敷地面積	5,240㎡	建築面積	1,630㎡
構造	R C 3階建	延床面積	4,767㎡

2) 主要宿泊施設

室数	97室	{	シングル (15.26㎡)	94室	}	(宿泊人数 100名)
			ツイン (30.52㎡)	3室		

スポーツルーム、食堂、ロビー、ラウンジ、
ステレオ室、プール、テニスコート

3) 研修施設

セミナールーム 5室、図書室、講師控室

平成2年度 業務報告書

1991年8月発行

編集・発行 国際協力事業団
八王子国際研修センター
〒192 東京都八王子市暁町2-31-2
Tel: 0426-26-5411(0)
Fax: 0426-26-9954

印刷所 有限会社 三共社
Tel: 0426-25-8325

JICA